

平成23年3月22日

**「東日本大震災復興支援ボランティア
(OPERATIONつながり)」の復興支援活動**

本学の学生有志団体「東日本大震災復興支援ボランティア (OPERATION つながり)」のつながり隊は、東日本大震災の被災地での復興支援に取り組んでいます。つながり隊は、昨年9月と12月にも被災地でのボランティア活動を行い、第3次隊 (2月14日～2月24日)、第4次隊 (3月9日～3月19日) とボランティア活動を継続しています。

本学は、第1次隊の活動から、広島大学基金により被災地でのボランティア活動を支援しています。今後も学生たちの積極的な活動を支援して参ります。

第3次隊および第4次隊の活動の概要

■第3次隊 (2月14日～2月24日)

第3次隊 (14人) は、宮城県内 (岩沼市、名取市、亘理町、仙台市若林地区) の仮設住宅で活動を行いました。同県での活動は3回目です

- ・交流会：仮設住宅の集会場で、手芸、ポストカード・ひな人形・こいのぼり作りなどを行い、住民同士の交流を図りました。
- ・世帯訪問：岩沼市、亘理町、名取市の300世帯を訪れ、傾聴活動や手伝いなどを実施。
- ・シンポジウム：東北大学の学生とシンポジウム「今、ぼくたちにできること～広島大学の学生と震災復興を考えよう～」を開催。これまでの活動の具体的な方法や精神面での支援の重要性を伝え、現地の学生が中心となって活動できるような基盤づくりも図ることができました。

■第4次隊 (3月9日～3月19日)

第4次隊 (17人) の活動は被災地の学生と共に行い、ボランティア活動のノウハウを伝え、被災地の学生主導による震災支援活動に移行するシステム構築への一助をなすことができました。活動は今までと同様に宮城県内 (岩沼市、名取市、仙台市若林地区) の仮設住宅で行いました。

お年寄りから子どもまで幅広い年代の方との交流を行い、「心の健康を維持できる“つながり”を目指しました。

- ・交流会：仮設住宅の集会場で、工作（つるし飾り）、手芸、ポストカード作りや、ずんだもち作りも行った。
- ・世帯訪問：岩名市、亘理町、仙台市若林区で掃除や傾聴活動を実施。
- ・シンポジウム：東北の大学生とのシンポジウムを開催し、被災地の学生と共に活動できるように「つながりトーク」により交流を図り、ボランティア活動のノウハウを伝えることができた。
- ・子ども支援：学習支援や子ども達と遊ぶ「つながり大会」を実施。
- ・市民とボランティアの集いに参加：3. 1 1の追悼式に参加し、ボランティア間の交流を図った。

本学の「つながり隊」の活動に、千葉・神奈川・東京・新潟・秋田の大学生が同じ宿泊施設に集まり共に支援活動を行いました。このような活動の広がりを今後も期待したいと思います。

【お問い合わせ先】

教育室

学生生活支援グループ

龍王 武志

TEL:082-424-6146、FAX:082-424-6159